

「大切な 水と一緒に 暮らす日々」 水道週間イベント

■水道週間中、市内でさまざまなイベントを開催

6月1日から6月7日まで、さまざまなイベントが開催された「第64回水道週間」。期間中には、多くの方がイベントに参加し、普段何気なく使っている水道について理解を深め、水の大切さを再確認しました。

◆「北上川クリーン作戦」◆

登米市の水道の主な水源となっている北上川。その堤防を美化し安全を守るため、下り松取水塔周辺（登米町内）の堤防を清掃する「北上川クリーン作戦」が6月1日（水）に実施されました。

当日は天候にも恵まれ、個人、団体、企業など、多くの皆さんが参加し、午後3時から4時までの約1時間、北上川堤防の清掃作業に汗を流しました。

作業では、大きなごみ袋を手に堤防や河川内に落ちているビニール類やペットボトル、空き缶、空き瓶、発泡スチロールなどを拾いました。

終了後には、流木なども含め、たくさんのごみが回収されましたが、そのほとんどが家庭から出るものであり、参加した一人ひとりが、改めてごみの投棄の根絶や継続的・定期的な清掃活動の大切さを認識しました。

ご協力をいただいた皆さん、大変ありがとうございました。



今年度も多くの方々にご参加いただきました。



取水塔付近に溜まっていたごみも集めていただきました。



かっぱの会の皆さんの協力をいただき
河川敷に流れ着いたごみなどは、船で
回収することができました。



軽トラックの荷台は回収されたごみで
いっぱいになりました。

◆「園児によるヤマメの稚魚放流」◆



北上川がいつまでも魚が住めるような綺麗な川であるように願いを込めて、6月2日（木）に水辺プラザ船着場（登米町）で、登米北上こども園の園児28名と登米幼稚園の園児11名がヤマメの稚魚を放流しました。

園児たちは、ヤマメの稚魚が入ったバケツを嬉しそうな表情で受け取ると、川岸で「大きくな〜れ！」と声を掛けながら、優しく稚魚を放流し、元気良く北上川へ泳いでいく稚魚をいつまでも見守っていました。



ヤマメの生態について、かっぱの会の方
が説明を行いました。



ライフジャケットを着用する園児たちは
少し緊張した様子でした。



登米市上下水道部のお兄さんから放流のやり方を教えてもらいました。



バケツに入ったヤマメをゆっくりと川へ放流していました。



園児たちは、放流したヤマメが泳いでいくのをずっと見守っていました。



放流後、園児たちには記念品が渡され「ありがとうございました」とお礼の言葉をいただきました。